



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

#### 【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で

自己免疫性てんかん/辺縁系脳炎が疑われた方のうち、研究に同意をいただける方

#### 【研究課題名】

自己免疫性てんかん/辺縁系脳炎における前向き観察研究

#### 【研究代表者】

金澤恭子（NCNP病院 脳神経内科）

#### 【本研究の目的及び意義】

自己免疫性脳炎・てんかんが疑われる患者において症状及び検査結果を用いて臨床的特徴を明らかにし、抗てんかん薬の効果について検討する。病態解明および抗体結果を用いない早期診断の一助となり、適切な薬剤選択、早期発作軽減に繋がる。

#### 【本研究に提供する試料・情報】

血液、髄液

神経診察所見、検査結果、治療経過

#### 【研究期間】

2021年8月6日から2023年9月30日まで

#### 【試料・情報等扱う機関】

京都大学大学院 医学研究科臨床神経学講座

神戸大学医学部附属病院 脳神経内科

Schleswig-Holstein大学Klaus-Peter Wandinger研究室

2022年4月

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520

E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更ください)